

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	数学及び演習						
科目区分	専門科目	単位数	3 単位	開講時期	1 年前期		
必修・選択の別	選択科目(建築工学コース) 選択科目(建築・デザインコース)						
担当者	小野聡子						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・構造力学をはじめとする構造関係の授業に必要な数学を理解する。 ・設備の授業に必要となる数学を理解する。 						
日程と内容	第 1 回 : 導入講義 第 2 回 : 連立 1 次方程式 第 3 回 : 2 次方程式 第 4 回 : 三角関数 (加法定理ほか) 第 5 回 : 不定積分・定積分 第 6 回 : 置換積分 第 7 回 : 三角関数の積分 第 8 回 : 微分 第 9 回 : 偏微分 第 10 回 : 構造力学での連立 1 次方程式の使用例 第 11 回 : 構造力学での積分の応用例 第 12 回 : 構造力学での微分の応用例 第 13 回 : 行列式 - 1 第 14 回 : 行列式 - 2 第 15 回 : 総まとめ 定期試験						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題	10%					
	演習	20%	計	100%			
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・構造力学をはじめとする構造関係の授業に必要な数学を理解する。 → 達成した ・設備の授業に必要となる数学を理解する。 → 達成した 						
反省点	予想していた以上に、高等学校で学んだ数学の内容に差があり、その点を配慮しながら教える必要があると感じた。具体的には、理系出身でない学生もそれなりにおり、また理系出身の学生でも数学 III を学んでいない学生がいた。また、自主学習も重要であることを、最初に言うべきだった。						
来年度の計画	本年度の内容から変更はしないが、もう少し基礎から教えることにする。構造系科目とあわせて TA の学生をメインに質問をさせていたが、教員も質問に応じることにする。						
授業評価アンケートに対するコメント	上述の状況から判断して、評価が低いかと思っていたが、数名を除いて 7 ~ 10 の評価を得ており、意外な結果であった。高等学校の理系出身者にとっては難しくない内容であったこと、および、教員が状況を判断して教えていることをわかってもらえたことが要因かと思う。高等学校で学んでいない行列は基礎から教えたが、演習時間に質問がほとんどなかった。それから考えると、小学校からなじみのある数学については、基礎から教えれば理解度が高くなるのではないかと考えている。						
履修登録者数	77 名	定期試験 受験者数	57 名	合格者数	42 名	合格率	74%